

科目名	教養演習D		科目ナンバリング	L-GELS9-03.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	G50029		30時間				
区分	一般教育科目	選択必修	担当者名	神戸 直樹			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 異文化コミュニケーション概論：本科目では、主にコミュニケーション学の観点から、異文化コミュニケーションに関する基本的な概念や理論を取り上げていく。具体的には、文化、コミュニケーション、アイデンティティ、ステレオタイプ、異文化適応、言語と非言語などのテーマやマスメディアにおける異文化の語られ方などを考察していく。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの7に関連し、カリキュラムポリシーの7に関連している。</p>									
到達目標	異文化コミュニケーションの諸問題や基本的な概念・理論を学ぶことを目的とする。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	導入			異文化コミュニケーションとIntercultural Communication						
第2回	文化とは			文化の定義、冰山モデル、教科書1-19ページ、リーディング・レスポンス1提出						
第3回	コミュニケーションとは			コミュニケーションの定義とモデル、教科書19-36ページ						
第4回	自己とアイデンティティ			アイデンティティの定義と特徴、教科書第2章、リーディング・レスポンス2提出、ワークシート						
第5回	偏見とステレオタイプ			選択的知覚、ステレオタイプ、偏見、差別、教科書第3章、観察メモ1提出						
第6回	言語コミュニケーション			低、高コンテクスト文化と言語、教科書第5章、リーディング・レスポンス3提出						
第7回	非言語コミュニケーション			非言語行動の種類と特徴、教科書第6章、観察メモ2提出						
第8回	空間、時間と文化			Mタイム、Pタイム、対人距離、リーディング・レスポンス4提出、ハンドアウト						
第9回	異文化適応			カルチャーショック、U曲線、W曲線、DMISモデル、教科書第7章						
第10回	対人コミュニケーションにおける異文化			対人関係構築プロセスと異文化コミュニケーション、教科書第8章、リーディング・レスポンス5提出						
第11回	異文化コミュニケーション能力			異文化コミュニケーション能力の構成モデル、教科書第9章、観察メモ3提出						
第12回	マスメディアにおける異文化			メディアにおける「異」の表象、オリエンタリズム、リーディング・レスポンス6提出、ハンドアウト						
第13回	異文化コミュニケーションの研究			異文化コミュニケーションの研究の歴史と特徴、教科書第10章、分析レポート提出						
第14回	批判的異文化コミュニケーション研究			批判的研究の目的と特徴、リーディング・レスポンス7提出、ハンドアウト						
第15回	期末試験、まとめ			試験準備、授業の振り返り						
授業方法(レクチャー、デモ、グループワーク等)	グループワーク	ペアワーク	ロールプレイング	誘導ディスカッション	資料記入	授業中のノート取り				
評価方法及び評価基準	<p>授業参加度(ワークシート含)(20%) リーディング・レスポンス(20%) 観察メモ(15%) 分析レポート(20%) 期末試験(25%)</p>									
課題等	上記参照									
事前事後学修	200分以上/週									
教材教科書参考書	教科書：石井敏・久米昭元・長谷川典子・桜井俊行・石黒武人、2013、『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション：多文化共生と平和構築に向けて』、有斐閣。(978-4-641-28133-2)									
留意点	<p>1. 授業準備に時間をかけ、その準備をもとに積極的に授業参加することが求められる。 2. 上記の教科書は第2回目の授業までに必ず準備すること。</p>									